

＜視点1＞【安全・安心の保障】												
具体的な取組		アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析		改善策・最終評価での目標数値		
◇いじめ・不登校への取組推進 ・未然防止(居場所づくり・絆づくり)の取組推進 ・アンケート調査の計画的実施 ・児童理解の会での情報共有と共通行動 ・いじめ対策チームの日常化 ・迅速かつ組織的な初期対応  ◇安全教育の推進 ・心のケアの計画的な実施 ・SCとの連携・効果的な活用 ・登下校時の安全指導及び危機の予測と回避 ・計画的かつ実体験を伴う避難訓練の実施 ・危機管理マニュアルの充実 ・食物アレルギーへの適切な対応	児童	学校は楽しい。	100%	➡	a	4	A ↓ A	○全項目において肯定的な回答が100%となっている。 △自分にはよいところがあると肯定的に答えた児童は100%であったが、A評価は80%であった。 ❖自分のよさの自覚はできてきたが、自信をもって表現できるまでに至っていない児童がいる。他者のがんばりや成長を評価したり、自分のよさを表現できる場面を設ける。また、校内だけでなく校外の多くの人と関わる中で、自分を見つめる機会を設けていく。				
	保護者	お子さんは、「楽しそうに学校に行っている」と思いますか。	100%	➡	a	4						
	児童	困っている友だちがいたら、助けてあげようとしている。	100%	➡	a	4						
	児童	自分にはよいところがある。	100%	➡	a	4						
	保護者	学校は、親切・思いやりの心を育てようとしていると思いますか。	100%	➡	a	4						
	児童	学校のきまりを守って、生活している。	100%	➡	a	4		○全項目において肯定的な回答が100%となっている。 →児童・教員共に校内での守るべききまりやルールを意識して行動ができています。				
	教員	児童が学校のきまりを守り、安全に生活できるよう指導している。	100%	➡	a	4						
	児童	みんなで協力して取り組み、うれしかったことがある。	100%	➡	a	4						
	保護者	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	100%	➡	a	4						
		先生は、子ども達のことをよく理解しようとしていると思いますか。	100%	➡	a	4						
	教員	児童同士のよりよい人間関係づくり(いじめ・不登校の未然防止)に努めている。	100%	➡	a	4						
		児童の心のケアを最優先に、小さな変化に気づいたときはすぐ行動している。	100%	➡	a	4						
	保護者	学校は、児童の安全を守るために努力していると思いますか。	100%	➡	a	4						
	教員	定期的に危機管理マニュアルを確認して行動している。	83%	⬇	b	3				△危機管理マニュアルを確認していない教員がある。 ❖年度初めに危機管理マニュアルの確認を行っているが、定期的な確認とまではできていない。危機発生の場合、危機管理マニュアルを用いて確認するようにする。		

3.9

＜視点2＞【学力の保障】												
具体的な取組		アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析		改善策・最終評価での目標数値		
◇学習に向かう基本の定着 ・授業のルールの定着(学習用具・挨拶・着ベル等) ・基盤づくりの取組(返事・挙手・反応・話し合い)  ◇対話的で深い学びへの授業改善 ・学習量のあるテンポのよい授業実践 ・正しい表現力をつけるための授業改善 ・適切な発問・指示 ・話し合い活動の工夫 ・外部講師を招いての研修  ◇ICT機器の活用 ・積極的な一人一台端末の使用 ・ICT機器の効果的・効率的な活用  ◇学習習慣づくり ・家庭学習・生活リズムの取組 ・自学学習の奨励 ・補充学習等個別指導の充実	児童	授業の内容はよくわかる。	100%	➡	a	4	A ↓ A	○「授業の内容がよくわかる」でA評価と回答した児童の割合が100%であった。 →授業でつけた力を明確にし、児童が「できた・わかった」を実感できる授業づくりができている。  △今年度から行っている、交流・集合学習に関する職員の肯定的回答は80%であった。 →今の状況だからこそ、交流・集合学習の必要性を再確認する必要がある。また、他校との日程調整・打ち合わせができる時間を確保する必要がある。	【目標数値:児童「授業の内容はよくわかる。」100%】 ●学校研究の具体的取組を精選しながら、全職員で継続的に実践する。少人数の強みを生かし、個々の習熟に応じた指導も行っていく。  【目標数値:教員「多様な考えに出会わせるために、積極的に交流(集合)学習を行っている。」100%】 ●交流・集合学習の必要性を再確認するとともに、他校との日程調整・打ち合わせ時間を確保し、担任以外の授業担当者も、見直しをもって授業の準備ができるようにする。  課題① 授業改善 →・具体的取組の精選 ・個別指導  課題② 交流・集合学習 →・必要性の再認識 ・打合せ時間確保  【目標数値:児童「規則正しく生活している」100%】 ●1学期に行った生活リズムアンケートの結果をもとに、早寝・早起きのよさ等生活リズムの改善について指導し、以降の個別指導につなげる。  課題③ 生活リズムの改善 →・改善の必要性の指導 ・個別指導			
		失敗してもあきらめずに、取り組もうとしている。	100%	➡	a	4						
	保護者	お子さんは、授業(勉強)の内容がよくわかると感じていますか。	100%	➡	a	4						
	教員	個々の習熟の状況に応じて、補充的・発展的な指導を行っている。	80%	↓	b	3						
		多様な考えに出会わせるために、積極的に交流(集合)学習を行っている。	80%	↓	b	3						
	児童	授業では、話し合うことで、よく分かるようになる。	100%	➡	a	4						
	教員	児童が自らの考えを表現する授業への改善をすすめている。	100%	➡	a	4						
	児童	毎日、家庭学習の目標時間を守って取り組んでいる。(1・2年 30分、3・4年 45分、5・6年 60分)	80%	↘	b	3						
	保護者	お子さんは、すすんで学習に取り組んでいますか。	100%	↑	a	4						
	保護者	お子さんが家庭学習に取り組む姿は、十分だと感じていますか。	100%	↑	a	4						
	教員	家庭学習の量や質が改善するように指導している。	100%	↑	a	4						
	児童	規則正しく生活している。 (起きる・ご飯を食べる・寝る時刻を守っている。)	90%	↓	a	4						
	保護者	お子さんは、早寝・早起きをしていますか。	80%	↑	b	3						
	教員	規則正しい生活となるよう指導している。 (起床・食事・就寝の時刻)	100%	↑	a	4						
	児童	家で、インターネットは1日にどれくらい使っていますか。 (A:30分未満 B:30分～1時間未満 C:1時間～2時間未満 D:2時間以上)	70%	↑	c	2						
	保護者	お子さんは、インターネットの使用についての「家庭のルール」を守っていますか。	90%	➡	a	4						
	教員	ネット利用のきまりの必要性や守ることの大切さを指導している。	80%	↘	b	3						

3.6

＜視点3＞【成長の保障】												
具体的な取組		アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析		改善策・最終評価での目標数値		
◇ <b>体力・運動能力の向上</b> ・体力アップ1校1プランの推進 ・スポチャレいしかわの取組推進  ◇ <b>キャリア教育の充実</b> ・将来の夢や希望を語る活動 ・働くことの喜びを知る活動  ◇ <b>認め合える集団づくりの取組</b> ・道徳教育及び個に応じた特別支援体制の充実 ・主体的な児童会活動の取組 ・縦割り班活動の充実  ◇ <b>読書活動の推進</b> ・家庭読書活動の推進 ・読書ボランティアとの連携  ◇ <b>SDGsの視点での体験学習の充実</b> ・地域の人・もの・ことを学ぶ(本物に触れる)機会の充実 ・まちの先生の活用	児童	自分には夢がある。	100%	➡	a	4	B ↓ A	○児童「自分には夢がある。」について、児童全員が強肯定だった。 →一貫したスローガンにより、夢の大切さが浸透している。 ○教員「将来の夢や希望を語る活動に取り組んでいる。」について、教員全員が強肯定だった。 →どの先生も、日頃の教育活動の中でキャリア教育を行っているという意識を持っている。今後も計画的に指導にあたる。  ○児童は、友達や先生から認められていると感じている。 ○挨拶に対しての自己評価・他者評価がともに高い。 →現在の取組を継続して取り組んでいく。				
	保護者	お子さんには、夢がありますか。	90%	➡	a	4						
	教員	将来の夢や希望を語る活動に取り組んでいる。	100%	⬆	a	4						
	児童	学校では、友だち同士でお互いのがんばりを認め合う場面がある。	100%	➡	a	4						
		先生はがんばったことをほめたり、認めたりしてくれる。	100%	➡	a	4						
		家族や地域の人に、自分からすすんであいさつをしている。	100%	➡	a	4						
	保護者	お子さんは、すすんで挨拶ができていると思いますか。	100%	➡	a	4						
	児童	地域のことについて、いろいろなことを学んでいる。	100%	➡	a	4		○地域や他校との交流学習の機会が設けられ、児童も成果を感じている。 →オンライン交流学習においては、質の向上に向けた環境整備や3校での話し合いを続けていく。				
	保護者	学校は、様々な交流活動にすすんで取り組んでいると思いますか。(①集会所での交流、②地域学習(地域の学びとの交流)、③他校との交流、④支援の方との交流)	100%	➡	a	4						
	教員	まちの先生を積極的に活用している。	83%	⬆	b	3						

3.9

＜視点4＞【教職員にとって働きがいのある職場づくり】												
具体的な取組	アンケート結果						自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値			
・個々のライフステージに合わせた受講の奨励 ・全職員での若手早期育成プログラムの計画的実践 ・業務改善の取組推進 定時退校日の実施・計画的な年休行使 一人一役での分掌・ワンペーパーでの起案 校務支援システムの活用	教員	本校の教育目標を具現化して、教育活動に取り組んでいる。	100%	➡	a	4	A ↓ B	○上記2つの肯定的回答の割合が100%である。 →学力向上プランをもとに、校内研修を行い全職員が教育目標の具現化に取り組んでいる。日常の業務の中で、教員同士が授業や生徒指導などについて話し合える雰囲気がある。 △「午後6時30分を目安に退校」が71%(←17%)である。 →特定の教員の退校時刻が、遅いためである。	【目標数値:教員「業務の効率化をすすめ、午後6時30分を目安に退校している。」100%】 ●まずは退校時刻をみんなで守ると同時に、業務改善の具体策を出し合い実践することで、業務の効率化・平準化をすすめる。			
		教師としての力量が高まるように努めている。	100%	➡	a	4						
		業務の効率化をすすめ、午後6時30分を目安に退校している。	71%	⬇	c	2						

3.3

＜視点5＞【保護者・地域から信頼される学校づくり】												
具体的な取組	アンケート結果						自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値			
・積極的な情報発信と開示による保護者との信頼関係の構築 ・コミュニティスクール制度を生かした「地域とともにある学校」への転換 ・公民館や地区行事と連動し、地域のよさを実感できる学習活動の企画と実施	保護者	学校は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	100%	➡	a	4	A ↓ A	○全項目において肯定的な回答が100%となっている。 →正院町第一団地との交流や地域学習(地域の学びとの交流)の様子や日々の活動の様子の情報発信を行えている。				
		学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分ですか。	100%	➡	a	4						
	教員	保護者・地域へ、積極的に情報発信を行っている。	100%	⬆	a	4						

4.0

＜アンケート集計から自己評価までの流れ＞	
① アンケート結果から、それぞれの項目をa～dの4段階に評価する 「そう思う」+「だいたいそう思う」が90%以上 ⇒ <b>a</b> 「そう思う」+「だいたいそう思う」が80%以上 ⇒ <b>b</b> 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%以上 ⇒ <b>c</b> 「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%未満 ⇒ <b>d</b>	③ 以下の基準で平均値から自己評価を行う 平均が3.6以上 ⇒ <b>A</b> 平均が3.0～3.5 ⇒ <b>B</b> 平均が2.4～2.9 ⇒ <b>C</b> 平均が2.3未満 ⇒ <b>D</b>
② ①の4段階の評価を、a=4 b=3 c=2 d=1とし、平均を出す	

➡ 5%以上増えている ⬆ 10%以上増えている	⬇ 5%以上減っている ⬆ 10%以上減っている	※令和6年度後期との比較
-----------------------------	-----------------------------	--------------

【保護者から】 ・いつもありがとうございます。(3年) ・今の学校で満足しています。(5年) ・子供達のために日々ありがとうございます。暑いので、先生方無理をせず定時退校してください！1学期もありがとうございました。(5年)
---